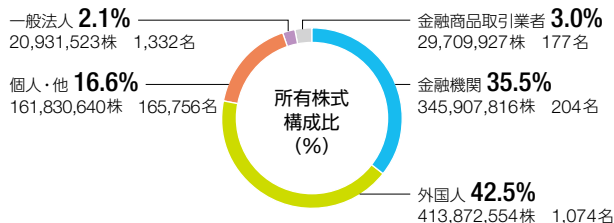


■ 会社概要 (2018年9月30日現在)

商号 **株式会社 小松製作所** (呼称:コマツ)
 本社 〒107-8414 東京都港区赤坂二丁目3番6号
 設立年月日 1921年(大正10年)5月13日

■ 株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行済株式総数 972,252,460株
 株主数 168,543名



■ 株式関連情報

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の
 口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 0120-232-711 (通話料無料)
 郵送先 〒137-8081
 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■ 株式に関するお手続きについて

- 証券会社などに口座を開設されている株主さま
 お取引口座のある証券会社などにお問い合わせください。
 郵送物の発送と返戻、取扱期間経過後の配当金に関するご照会は、三菱UFJ信託銀行で承ります。
- 特別口座に登録されている株主さま
 三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。(連絡先上記)

見直しに関する注記事項

この報告書に記載されている将来の業績に関する予想、計画および見直しなどは、現在入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績はさまざまな要因の変化により、記載の予想、計画および見直しとは大きく異なることがあり得ますことをご承知ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況の変動、製品需要の変動、為替相場の変動および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行などの変更などが含まれます。

コマツ 〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6
<https://home.komatsu.jp/>

コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
 Tel: 03-5561-2616 Fax: 03-3505-9662

株主の皆さまへ

中間報告書

2018年4月1日～2018年9月30日



【写真】自律運転油圧ショベル・
 自律運転クローラードンプトラック
 (実証実験機)

「CEATEC JAPAN 2018」で、
 センサーやAI(人工知能)によ
 って地形や障害物・人の接近を認識
 しつつ、無人稼働するデモンスト
 レーションを行いました(TOPICS
 もご覧ください)。

第150期

KOMATSU

ごあいさつ



コマツ取締役会メンバー

(後列左から) 小川 啓之、数中 三十二*、奥 正之*、木川 眞*、浦野 邦子
(前列左から) 野路 國夫、大橋 徹二、藤塚 主夫 *印は社外取締役

株主の皆さまには、日頃よりご理解とご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

当中間期(2018年4月1日から2018年9月30日まで)の業績は、建設機械・車両部門において需要を着実に取り込んだことによる物量増に加え、販売価格の改善などにより、連結売上高は前年同期比13.7%増収の1兆3,180億円、営業利益は前年同期比80.2%増益の2,003億円となり、売上高営業利益率は15.2%となりました。

期初の想定に対して為替が円安傾向であることに加え、下期も北米や鉱山機械を中心に需要が堅調に推移すると予想されることから、通期の連結売上高見通しを2兆5,030億円から2兆6,620億円に、営業利益見通しを3,390億円から3,810億円に上方修正しました。また当期の1株当たり配当金を中間期51円、期末51円と、それぞれ期初予想に対し3円増配いたします。

コマツの経営の基本は、「品質と信頼性」を追求し、企業価値を最大化することにあります。全社員が「コマツウェイ」を共有し、環境・社会・コーポレートガバナンスについてこれまで以上に強く意識しながら、業績の向上、企業体質の更なる改善および社会的使命の達成をバランス良く実現してまいります。

株主の皆さまには、引き続き変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2018年11月

取締役会長

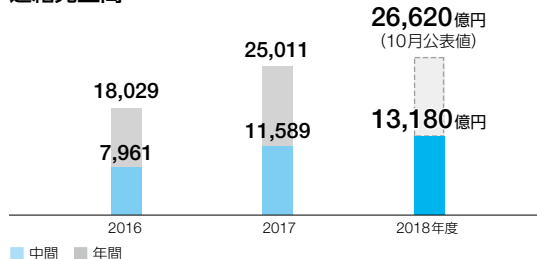
野路 國夫

代表取締役社長

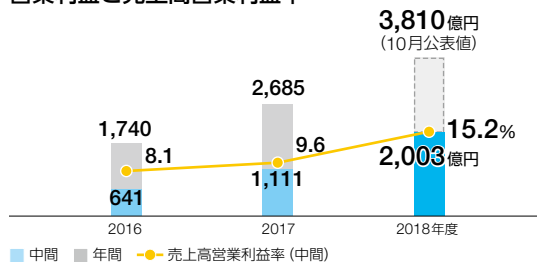
大橋 徹二

財務ハイライト

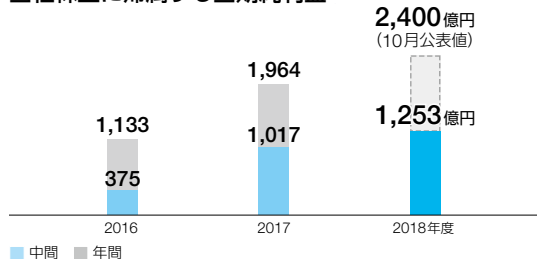
連結売上高



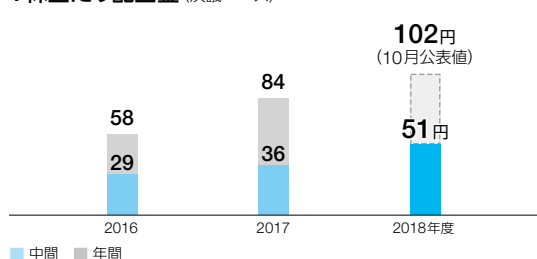
営業利益と売上高営業利益率



当社株主に帰属する当期純利益



1株当たり配当金 (決議ベース)



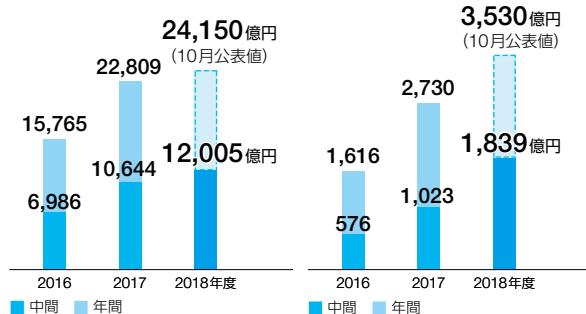
詳細は、当社ウェブサイト「株主・投資家情報」ページをご覧ください。
<https://home.komatsu/jp/ir/>

セグメント情報

建設機械・車両部門

北米、アジア、オセアニアを中心に多くの地域で建設・鉱山機械需要を確実に取り込んだことに加え、販売価格の改善などにより増収となりました。セグメント利益は、物量増、販売価格の改善、ならびにコマツマイニング(株)の一時費用の減少などにより増益となりました。

売上高 (部門間取引消去前ベース)

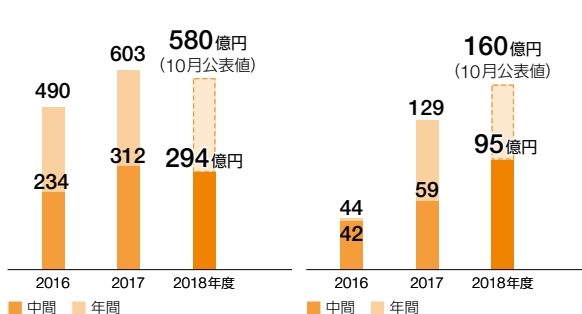


セグメント利益

リテールファイナンス部門

北米で増収となりましたが、全体では、特異要因(リース解約車の売却益)があった前年同期に対し減収となりました。セグメント利益は、2016年度に中国で貸倒引当金として計上した債権の一部を回収し、引当金の戻しを行ったことなどにより増益となりました。

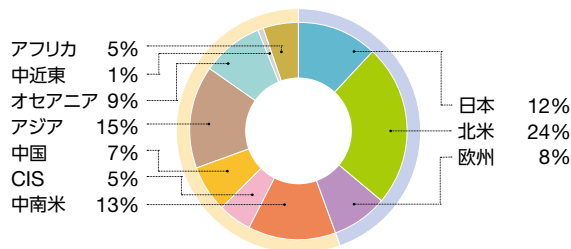
売上高 (部門間取引消去前ベース)



セグメント利益

セグメント別売上高構成 (外部顧客向け)

地域別売上高構成比 (外部顧客向け)

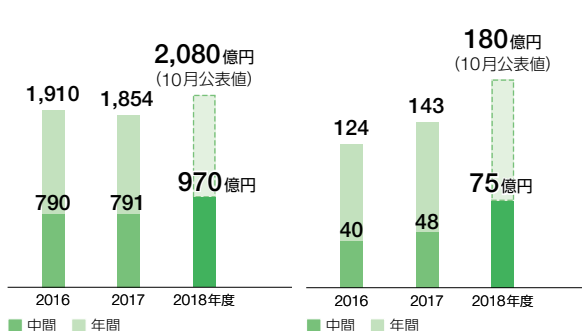


	売上高 (億円)	前年同期比 (%)	市場区分
日本	1,374	-12.2%	伝統市場 44%
北米	2,891	+16.8%	
欧州	1,001	+18.3%	
中南米	1,541	+2.7%	戦略市場 56%
CIS	656	+23.2%	
中国	814	+16.3%	
アジア	1,776	+33.5%	
オセアニア	1,099	+29.1%	
中近東	144	-17.6%	
アフリカ	651	+10.5%	

産業機械他部門

自動車向けの工作機械の販売増加に加え、好調な半導体市場に伴うエキシマレーザー関連の売上げが増加したことなどにより増収増益となりました。

売上高 (部門間取引消去前ベース)



セグメント利益

TOPICS

「CEATEC JAPAN 2018」に初出展

コマツは2018年10月16～19日にかけて開催された「CEATEC JAPAN 2018」に初出展し、「もっと安全で、もっと生産性の高い、もっとスマートな未来の現場」をテーマに、スマートコンストラクションの最新事例を紹介。自律運転建機（表紙）やブルドーザー遠隔制御システム、AR・VR*1技術を取り入れた工事進捗管理システムなど、建設現場においてより安全で、より生産性を高くするソリューション*2を展示しました。

*1 AR・VR：拡張現実・仮想現実

*2 サービス提供時期はいずれも未定です。



CEATEC展示会場の幕張メッセから、遠隔地の無人ブルドーザーを操作するデモンストレーションを行いました。

「国際物流総合展2018」(9月11～14日)に大型フォークリフト「FH160-1」を出展

「FH160-1」は2017年11月に発売した大型フォークリフトで、建設機械で培った最新の排出ガス規制*1対応エンジンや油圧駆動技術を結集し、高負荷作業時の燃料消費量を当社同クラス機比で30%低減しました*2。圧倒的な環境性能を誇り、お客さまのランニングコスト低減にも貢献する画期的な商品です。

*1 「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」2014年基準対応

*2 当社テストコースにて当社トルクコンパター車と比較。実際の作業では作業内容により異なります。

大型フォークリフト
「FH160-1」



コマツマイニング、本社工場移転を発表

超大型鉱山機械を生産する子会社のコマツマイニング(株)は、2018年9月、米国ウィスコンシン州ミルウォーキーの本社工場を移転する計画を発表しました。

同市内沿岸部に新設する本社工場では、周辺に点在するオフィスや工場を集約することで効率化を図るとともに、最新技術の導入により生産性の向上と環境負荷の低減を図ります。新工場には約3億ドルを投資し、2022年に移転完了予定です。



現場で稼働する
ロープショベルと
ダンプトラック

産業機械の販売・サービス拠点をアジア各国で拡充

コマツ産機(株)では、アジア市場における産業機械の販売・サービス強化のため、2018年4月にベトナムに連絡事務所を開設しました。また、6月にはタイに支店(展示場)を増設し、8月にはインドネシアに展示場とサービス・補給部品センターを開設しました。

アジア諸国では、工業発展に伴い産業機械市場の長期的な拡大が見込まれます。コマツ産機では販売・サービ



ス体制の強化を図り、需要の確実な取り込みを目指します。

インドネシアに開設した
コマツ産機の展示場

大阪工場内で、環境・安全に配慮した 新熱処理棟が稼働開始

大阪工場内で2018年4月に稼働開始した新熱処理棟は、構内の各所に分散していた熱処理工程を高効率な無人自動化ラインに集約し、面積当たりの生産効率を20%向上。環境への効果として、2010年度に対し35%、約9,000MWh/年の大幅な省エネを実現する見込みです。



新熱処理棟の無人エリアは、大幅な生産効率向上と省エネに加え、作業者の安全にも配慮しています。

高温となる生産設備を無人エリアに集約(写真)することで、空調や照明に要した消費電力を削減し、安全で快適な職場環境も実現しました。

カンボジア地雷除去・地域復興支援 活動が10周年を迎える

カンボジア・バタンバン州での地雷除去・地域復興支援活動が10周年を迎え、5月22日に現地で記念式典が開催されました。この活動の特長は、地雷除去跡地におけるインフラ整備もコマツがサポートすることです。地雷除去機および建設機械の無償貸与などを通じ、この10年間に延べ1,735haで1,360個の対人地雷を除去し、道路62km、小学校8校、46の灌がい用溜池などが建設されました。今後も、本業である建設機械を通じた支援により地域全体の復興に寄与する活動を進めていきます。



地雷を除去した跡地に、小学校や道路などのインフラを建設します。

リベリア職業訓練校 (JHEOS) で 卒業式を開催

JHEOSは日本政府が出資し、UNIDO (国際連合工業開発機関) が運営を支援する、建設・鉱山・農業技能者の育成学校です。コマツは2013年8月の開校以来、本業を活かし、就業を支援する社会貢献活動として、講師の派遣や機材の提供、現地指導員の育成といった支援を継続。現在、同校は西アフリカで最も充実したトレーニングセンターと評価されています。



2018年7月、同校にて、生徒約200名の卒業式が開催されました。

コマツは引き続き、同校をサポートしていきます。

JHEOSの生徒の女性比率は高く、現地の女性就労支援の一助となっています。

2018バクー世界柔道選手権大会で コマツ選手が金銀銅メダルを獲得

9月20～27日にアゼルバイジャン・バクーで開催された世界選手権大会にコマツから4選手が出場。57kg級の芳田司選手が金メダルを獲得したほか、各階級で活躍しました!



金メダルを獲得した芳田司選手

コマツ選手の試合結果

個人戦

57kg級	芳田 司	金メダル
57kg級	連 珍 鈴 (台湾代表)	3回戦 敗退
63kg級	田代 未来	銀メダル
70kg級	大野 陽子	銅メダル

団体戦

57kg級	芳田 司	金メダル
70kg級	大野 陽子	

参加費
無料

工場見学会のご案内

株主の皆さまに当社へのご理解を一層深めていただけるよう、工場見学会を開催いたします。この機会にぜひご応募ください。

申込期限

2018年12月25日(火) 消印有効

対象者

2018年9月末現在、当社株式100株以上を保有の株主さまとその同伴者さま1名まで。(株主さまを含め1組2名まで)ご参加者は18歳以上とさせていただきます。

工場見学会 ハガキ記入要領

ハガキおよび郵送料は、株主さまにてご負担くださいますよう、お願い申し上げます。

62円
切手

〒107-8414

コ
マ
ツ
広
報
グ
ル
ー
プ
行

東
京
都
港
区
赤
坂
2-3-6

- ① 希望コース番号
- ② 郵便番号
- ③ ご住所
- ④ 株主さまのお名前
- ⑤ 年齢
- ⑥ 電話番号
(日中連絡のとれるもの)
- ⑦ 株主番号*
- ⑧ 同伴者さまのお名前と
年齢(1名まで)

* 株主番号は、同封の「配当金計算書」「配当金領収証」などに記載しています。



見学会の様子

ご見学内容は工場により異なります。また展示車両も変更の可能性がございます。

ご応募が多数の場合は、誠に勝手ながら抽選とさせていただきます。抽選結果は、2019年1月末発送予定です。

現地までの往復交通費は株主さまのご負担とさせていただきます。地震・大雨などの自然災害発生など、諸般の事情により中止または内容が変更となる場合がございます。その場合は、ハガキにご記入いただいた電話番号にご連絡させていただきます。

コース番号	開催場所	日時(約3時間)	定員	所在地	最寄駅	生産品目
1	小山/ 栃木工場	2019年2月28日(木) 13:30~	各回 50名	栃木県 小山市	JR小山駅	【小山】エンジン、油圧機器、アクスル(車軸)など 【栃木】フォークリフト、ミニショベル、ミニホイールローダーなど
2		2019年3月 1日(金) 13:30~				
3	茨城工場	2019年3月 6日(水) 13:30~	各回 60名	茨城県 ひたちなか市	JR勝田駅	大型ダンプトラック、 大型ホイールローダーなど
4		2019年3月 7日(木) 13:30~				
5	大阪工場	2019年3月14日(木) 13:30~	各回 40名	大阪府 ひらかた 枚方市	京阪電鉄 枚方市駅	中・大型油圧ショベル、 大型ブルドーザーなど
6		2019年3月15日(金) 13:30~				